

予算の執行状況

市民のみなさんが納めた税金、国や県からの支出金、市債など（歳入）がどのように使われたか（歳出）を知っていただくため、市では毎年6月と12月の2回、市の財政事情を公表しています。今回は、平成13年度上半期（4月1日～9月30日）の執行状況などについてお知らせします。

一般会計

歳入	予算現額	収入済額	収入率%
市税	250億7,269万円	143億2,315万円	57.1
市債	55億0,380万円	1,700万円	0.3
国庫支出金	33億6,390万円	4億9,522万円	14.7
諸収入	19億0,504万円	3億1,112万円	16.3
地方消費税交付金	14億3,000万円	7億5,127万円	52.5
繰越金	10億3,841万円	19億3,821万円	186.7
使用料及び手数料	9億6,763万円	3億7,082万円	38.3
分担金及び負担金	9億4,364万円	3億6,270万円	38.4
繰入金	1億5,432万円	0万円	0.0
その他	33億2,596万円	12億9,169万円	38.8
合計	437億0,539万円	198億6,118万円	45.4

歳出	予算現額	支出済額	執行率%
民生費	91億5,217万円	29億0,082万円	31.7
土木費	85億3,430万円	24億9,182万円	29.2
総務費	56億9,897万円	22億3,909万円	39.3
教育費	56億9,609万円	20億2,916万円	35.6
衛生費	55億7,417万円	13億5,246万円	24.3
公債費	33億0,479万円	10億1,449万円	30.7
消防費	24億7,489万円	8億9,656万円	36.2
農林水産業費	14億5,118万円	3億3,601万円	23.1
商工費	12億8,298万円	9億8,483万円	76.8
その他	5億3,585万円	2億1,167万円	39.5
合計	437億0,539万円	144億5,691万円	33.1

特別会計

会計名	予算現額	収入済額	収入率%	支出済額	執行率%
国民健康保険	53億2,196万円	21億6,279万円	40.6	19億5,688万円	36.8
老人保健	46億7,073万円	20億9,796万円	44.9	19億4,899万円	41.7
下水道事業	32億9,917万円	7億7,477万円	23.5	5億4,684万円	16.6
介護保険	26億6,587万円	12億3,120万円	46.2	7億5,912万円	28.5
公設地方卸売市場	4億0,556万円	1億5,731万円	38.8	1億7,777万円	43.8

* 特別会計とは、特定の事業を行う場合などに一般の歳入・歳出と区別して経理するために、条例により設置しているものです。

企業(水道)会計

収入	予算額	収入済額	収入率%
収益的収入	19億1,209万円	5億9,000万円	30.9
資本的収入	2億1,228万円	1,470万円	6.9

支出	予算額	支出済額	執行率%
収益的支出	17億9,651万円	6億2,457万円	34.8
資本的支出	5億6,254万円	2億9,787万円	53.0

* 収益的収支とは、印旛広域水道からの受水や家庭への給水など、営業活動から生じる収支のことです。

* 資本的収支とは、配水管の布設や改良事業から生じる収支のことです。

市債など

一般会計債	262億6,655万円
下水道事業債	102億3,882万円
市場事業債	4億7,874万円
合計	369億8,411万円

企業債(上水道事業)	100億2,430万円
------------	-------------

財産

土地面積	306万4,245m ²
建物面積	29万5,469m ²

基金	財政調整	25億5,662万円
	その他15基金	34億0,651万円
	合計	59億6,313万円



順調に工事が進む福祉センター

* 市債・企業債とは、市が多額の経費を要する事業を行うとき、経費の一部を国などから借り入れるものをいいます。



バランスシートから見る市の財政

バランスシートとは

バランスシートとは一定の時点での資産や負債などの財政状況を表したものです。

6・7ページでお知らせした「平成12年度決算のあらまし」は、一年間を通じてどのような収入があり、それをどのように支出したのかを報告しています。一方「成田市のバランスシート」では、過去の積み重ねによる市の財産はどのくらいになったか、そのために借り入れた金額がどのくらいなのかを示しています。

バランスシートから分かること

成田市のバランスシートは、一般会計すべての特別会計および公営企業会計を含めて作成していますので、市の全体像を知ることが出来ます。

資産は、市が保有する財産の内容を表しています。道路・公園、小中学校などの公施設や基金などで、将来にわたり行政サービスを提供するための資源であるといえます。負債は、将来にわたって支払いや返済の

必要があるものです。市民が長期にわたって使用する施設を整備するための財源として市債などを利用しているため、将来の市民にもその一部を負担していただくこととなります。

正味資産は、資産から負債を差し引いたもので、将来に負担を残さない資金です。市税や国・県からの補助金などで賄ったものです。

資産に対して正味資産の割合が高く、成田市が健全な財政運営をしてきたことがわかります。

作成の条件

国の基準により、昭和44年度以降の決算統計により作成してありますので、43年度以前に取得した資産は計上されていません。また、44年度以降に売却や滅失により除却されても資産として計上されています。

また、今回のバランスシートには、土地開発公社や開発協会などの財団法人は除外されています。仮にこれらを合算すると住民1人当たりの資産は2,330千円、負債は653千円、正味資産は1,677千円となります。

成田市全体のバランスシート

(平成13年3月31日現在)

[資産]		[負債]	
1. 固定資産	1,851億5,700万円	1. 固定負債	530億1,900万円
総務費(市庁舎、防災施設など)	114億9,500万円	地方債	450億4,200万円
民生費(保育園、福祉作業所など)	28億2,100万円	退職給与引当金	77億3,800万円
衛生費(ごみ処理施設、リサイクルプラザなど)	97億4,300万円	その他引当金など	2億3,900万円
労働費(勤労会館など)	1億3,100万円		
農林水産業費(農道、排水路、卸売市場など)	50億7,900万円	2. 流動負債	40億6,400万円
商工費(東和田駐車場、公衆トイレなど)	12億0,400万円	翌年度に支払う市債など	
土木費(道路橋りょう、公園、河川など)	585億0,400万円		
消防費(消防署、消防車など)	22億0,800万円	負債合計	570億8,300万円
教育費(学校、図書館、公民館など)	507億6,000万円		
卸売市場(水産棟、青果棟など)	21億4,600万円		
下水道(下水管、ポンプ施設など)	251億4,100万円		
水道(配水管、配水場など)	159億0,100万円		
その他	2,400万円		
2. 投資等(出資金、貸付金など)	166億3,300万円		
3. 流動資産(現金、預金など)	145億7,900万円		
4. 繰延資産	6,600万円		
資産の合計	2,164億3,500万円		
		[正味資産]	
		国からの補助金	235億1,600万円
		県からの補助金	24億8,300万円
		市税などの一般財源	1,333億5,300万円
		正味資産合計	1,593億5,200万円
		負債と正味資産の合計	2,164億3,500万円

市民1人当たりのバランスシート

人口 95,011人

資産	2,278千円	負債	601千円
		正味資産	1,677千円

バランスシートについてくわしくは財政課(☎20-1512)へ。